

活性酸素・フリーラジカルが 関わる主な疾患

代謝・内分泌	糖尿病、メタボリックシンドローム、 高脂血症
循環器	動脈硬化、心筋梗塞、不整脈
脳神経系	脳梗塞、脳出血、認知症、 アルツハイマー病
消化器	胃炎、胃潰瘍、胃がん、肝炎、 肝硬変、潰瘍性大腸炎
呼吸器	ぜん息、肺炎、肺気腫、肺繊維症
血液系	白血病、敗血症、血小板異常症
皮膚	アトピー性皮膚炎、火傷
泌尿器	糸球体腎炎、ED、間質性膀胱炎
間質組織系	関節リウマチ、膠原病
眼科	白内障、加齢黄斑変性
腫瘍	喫煙による発がん
医原性疾患	薬物障害、制がん剤の副作用
環境汚染性疾患	重金属障害、排気ガス性肺障害
その他	老化、紫外線によるシミ・シワ、 加齢臭

脳の活性酸素 水素水で減

東邦大学の石神昭人・准教授と東京都老人総合研究所などは、水素ガスを飽和状態まで溶かした「水素水」をマウスに与えると、脳に蓄積して様々な病気の原因となる活性酸素の量を減らす効果があることを実験で確かめた。水素水は無害なため、アルツハイマー病や動脈硬化などの予防に役立つ可能性がある。このためビタミンC

東邦大など、マウスで確認
動脈硬化予防に活用も

脳内の活性酸素の量を調べた。普通の水を与えたグループは、十分なビタミンCを与えたグループと比べて脳内の活性酸素の量が約三倍になった。しかし水素水を与えたグループは、水だけを与えたグループと比べて活性酸素の量が平均で二十七分な水素水に含

東邦大など、マウスで確認 動脈硬化予防に活用も

東邦大など、マウスで確認
動脈硬化予防に活用も

東邦大など、マウスで確認
動脈硬化予防に活用も

日経産業新聞

脳梗塞 水素水で治療

日本医大、動物実験で確認

日医科大学の太田成男教授らは、水素に脳梗塞(うそく)の治療効果を得ることを動物実験で確認した。細胞を傷つける活性酸素の働きを抑える抗酸化作用があるという。

研究成果は七日付の英科学誌「ネイチャー・メディシン」(電子版)に掲載された。

脳血管の一部が詰まると、脳梗塞が起きる。脳梗塞は、脳組織の一部が死んでしまう。脳梗塞は、脳組織の一部が死んでしまう。脳梗塞は、脳組織の一部が死んでしまう。

現在、脳梗塞治療に用いられる薬は、脳梗塞の原因となる活性酸素を抑える作用がある。脳梗塞の原因となる活性酸素を抑える作用がある。脳梗塞の原因となる活性酸素を抑える作用がある。